



Multi Editor Essential マニュアル

- 市販の音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- このソフトウェアおよびマニュアルの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

© 2011-2013 Yamaha Corporation. All rights reserved.

MOTIF XFシリーズ、MOTIF XSシリーズ、S90 XS/S70 XS、MOXF6/MOXF8、MOX6/MOX8、MOTIF-RACK XS の設定については、楽器本体の取扱説明書をご参照ください。

Multi Editor Essential の構成

Multi Editor Essential は、MOTIF XFシリーズ、MOTIF XSシリーズ、S90 XS/S70 XS、MOXF6/MOXF8、MOX6/MOX8、MOTIF-RACK XS のソング / パターンモードまたはマルチモードにおける Mixer/Effect/MEQ パラメーターを iPad から編集するアプリケーションです。

Multi Editor Essential

Utility画面

- デバイスナンバーの設定
- MIDI Typeの設定
- ノブ/フェーダーの動かし方の設定
- 送受信の設定

EFFECT画面



MEQ画面



Chorus画面

Reverb画面

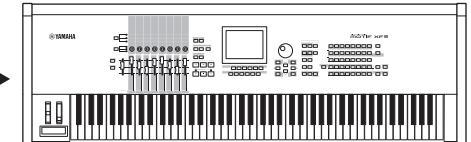
Master Effect画面



MIXER画面



**MOTIF XF, MOTIF XS,
S90 XS/S70 XS, MOXF6/MOXF8,
MOX6/MOX8, MOTIF-RACK XS**



ヤマハi-MX1またはi-UX1を使って、iPadと楽器を接続します。
MOTIF XFはワイヤレスMIDIで接続できます。詳細はMOTIF XF Version 1.20 新機能マニュアルをお読みください。

NOTE

- 楽器本体はソング/パターンまたはマルチモードに切り替えてください。
- 編集したパラメーターは、楽器にストアしてください。
- Lightningコネクタを持つデバイスとi-MX1/i-UX1を接続するにはApple Lightning - 30ピンアダプタが必要です。

このマニュアルでは MOTIF XF を例にしています。接続する楽器により、画面やボタンがない場合があります。

タイトルバーと Utility 画面

ここでは、全体に共通した設定を行ないます。



* テンプレートとは

MIXER/EFFECT/Chorus/Reverb/Master Effect/MEQ 各画面の設定を一括で記憶します。この記憶データをテンプレートと呼びます。テンプレートは複数記憶することができ、それぞれに名前をつけたり、呼びだしたり、初期化することができます。

MIXER 画面



テンプレートネームをタップするとテンプレートリストが開きます。両脇にある [-], [+] をタップして変更することもできます。

タップすると、**MIXER/EFFECT/MEQ** の各画面に切り替わります。

パートごとの **PAN** を調整します。ノブを操作すると値を変更できます。表示されている値をタップするとスライダーが表示されます。このスライダーを操作しても値を変更できます。

SEQ TRANSPORT

- ソングの先頭小節まで戻します。

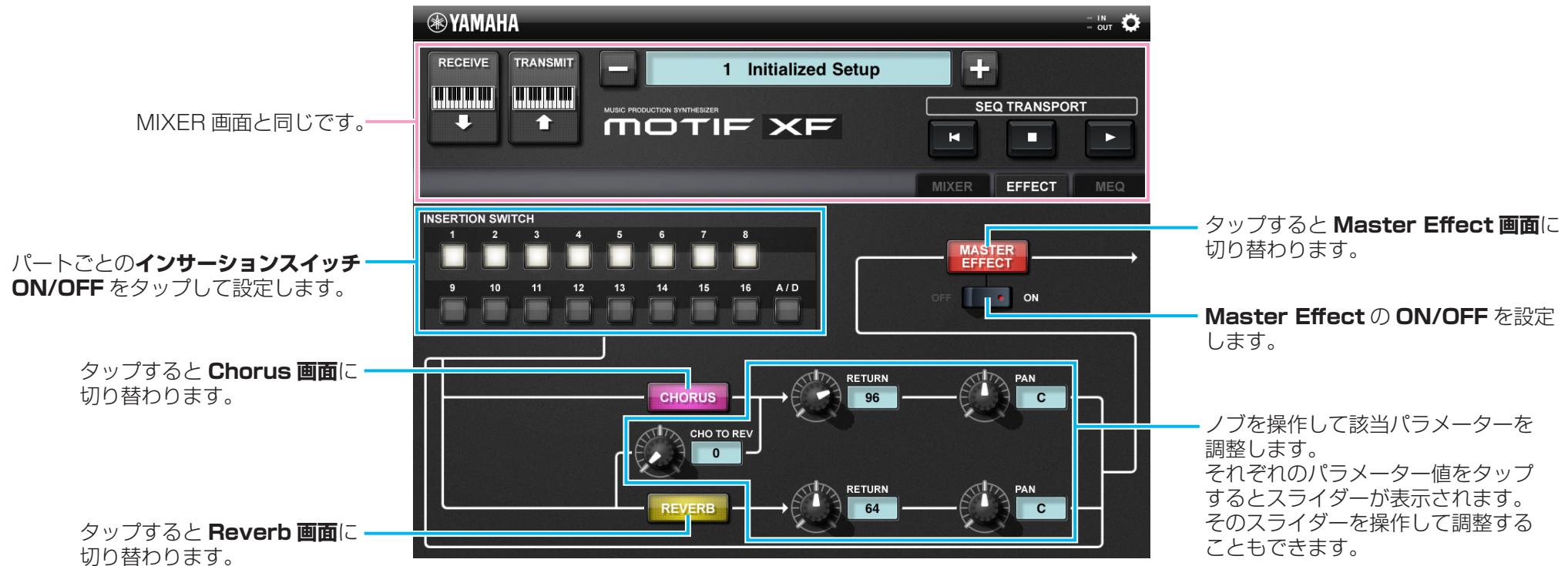
NOTE

- パターンには機能しません。
- MOX6/MOX8、MOXF6/MOXF8では再生中は機能しません。

- ソングやパターンの再生やレコーディングを止めます。

- ソングやパターンを再生したり、レコーディングを開始します。

EFFECT 画面



Reverb/Chorus/Master Effect 画面

Reverb/Chorus/Master Effect 画面は同じレイアウトです。



タップすると EFFECT 画面に戻ります。

エフェクトタイプセレクト

エフェクトタイプを選択します。CATEGORY/TYPE/PRESET 名をタップするとリストが表示されます。CATEGORY/TYPE/PRESET 名の両脇にある [-]、[+] をタップしても、変更することができます。

エフェクトリスト

リストで CATEGORY > TYPE > PRESET の順に選択します。



エフェクトパラメーターエディット

調整したいパラメーターのスライダーをドラッグして値を調整します。
両脇にある [-]、[+] をタップすると値を微調整できます。

画面を上下にドラッグするとパラメーターがスクロールします。

MEQ 画面

